

万が一に備え、野外救急法を学ぶ



人が増える紅葉シーズンの前、怪我や体調不良等といった緊急時の対応をできるように、東京都レンジャーは野外救急法の研修を受講しました。実際に起こりそうな場面を想定したシミュレーションを通して、適切に救急隊に引き継ぐための記録の取り方、全身観察、自分たちの安全確保、感染予防、止血法や、体温管理、体位管理などを学びました。「悪化させないで、救急隊に引き継ぐ」ためにはどうするか。医療関係者ではない私たちができることを、繰り返し訓練しています。

街の中での事故と異なり、山奥で起こるトラブルには、ある程度の初期対応を自分たち自身で行わなければなりません。より深く、自然を楽しむには、自分自身でトラブルを回避するためのワザ、を磨くこともお勧めします。



体調が悪い場合は無理しないでね
山は逃げません！



低体温症に対する対応

エマージェンシーシートや雨具で保温



感染予防のため手袋、マスク着用

負傷した腕を、直接圧迫止血



状況をヒアリング

みてね！登山道の注意表示。安全確認の第一歩



雨風や降雪、寒暖差といった過酷な自然環境の中にある登山道。倒木があったり、土砂が堆積したり、木橋が落ちたり、スズメバチの巣が道脇にできたり、といった様々な危険な問題が起きることがあります。東京都レンジャーは、巡視中に確認したり、登山者から寄せられた情報をもとに現地確認したのち、利用者への注意喚起の掲示を行っています。時には、危険な場所は通行止めにして、迂回できるコースを案内することも。現地にある表示は、安全に登山するためにも、参考にしてほしいです。

危険な場所には、立ち入らないようご協力お願いします。



怪我をしないように！
という現場からのメッセージ



危険な場合は通行止めにするこども

登山道についてお気づきの点があれば
ビジターセンターへご連絡ください

Twitter『東京の自然公園』
自然公園の情報を発信中！

R 東京都レンジャーの業務

- 1 観光客などへの利用マナーの普及、啓発
 - 2 希少な動植物の密猟や盗掘の監視
 - 3 利用者の安全確保のための遊歩道や案内板などの点検、応急補修
 - 4 動植物の生息、生育状況など自然環境の継続的観測および監視
- その他、自然公園を訪れる皆様への自然解説、登山ルートや施設の案内

自然情報などの問い合わせ

高尾ビジターセンター	042-664-7872
奥多摩ビジターセンター	0428-83-2037
御岳ビジターセンター	0428-78-9363
小峰ビジターセンター	042-595-0400
山のふるさと村ビジターセンター	0428-86-2551